

施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画 体系	政策	2	政策名	安心で安全な暮らしづくり	施策主管課	総務課
	施策	2-1	施策名	防災・消防体制の充実	施策主管 課長名	金子 吉弘
関係課	総務課 建設水道課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域	意 図	A 地域ぐるみの減災体制が整っている
	B 町民		B 防災の意識が高まり、災害への備えが浸透している

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値 下段：実績値				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
A 自治区あたりの自主防災組織率（増加）（現状値：H30時点）	%	9	20 9	25	30	35	45
B 災害等の発生に対する備えができていない割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	34.4	35.4 35.1	36.4	37.4	38.4	39.4

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

<p>組織の設立支援補助金制度の周知や集落支援員による各自治区長への啓発活動を実施し、自治区長なども組織の必要性については、理解を示しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で地区自体の集会などが取りやめとなったところが多く、地区全体に組織設立の説明もできなかったことから、新たな組織設立に至らなかった。</p>
<p>目標値には届かなかったものの、現状値からは割合が増加している。全国で多くの災害が発生していること、また福島県内で大きな地震が発生したこと、町広報紙への記事掲載や出前講座などの啓発活動により、住民の災害に対する意識は高まっていることが理由と考えられる。</p>

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員により各自治区へ自主防災組織の組織化の働きかけ及び出前講座を行った。</li> <li>・避難行動要支援者名簿を整備し、関係機関との共有を行った。</li> </ul>
---

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

<p>地域の防災意識を更に高めるため、自主防災組織の設立支援を引き続き推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で開催していなかった一般住民参加型の防災訓練を実施する。また、災害時の避難支援が実効性のあるものとするために、避難行動要支援者個別避難計画の作成を進める。さらに設置から12年が経過した防災情報システムの更新についての方針を定める。</p>
--

## 6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4611	地震防災対策事業	705	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4741	消防施設維持管理事業	31,151	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	5116	防災情報システム事業	10,106	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
4	5379	災害対策事業	8,654	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
5	5595	消防団員活動事業	58,092	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	5619	広域消防等事業	430,189	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
7	14702	急傾斜地崩壊対策事業	3,810	評価対象外	評価対象外	評価対象外	